

富士河口湖町立 教育センターだより

No. 7

令和元年7月10日

文責 渡辺富美夫



教育講演会

自分を好きになる子どもを育てましょう

講師 森崎 千秋(アドラー心理学カウンセラー)

6月29日に富士河口湖町PTA連合会、南都留郡PTA連合会、富士河口湖町立教育センター主催による教育講演会が行われました。当日は町内外よりたくさんの保護者や教職員の方々のご参加をいただき、ありがとうございました。186名のアンケートから、その一部を紹介いたします。



- ・子育ては本当に大変で日々たくさんの悩みと戦っています。子育てには正解はないと言われてますが、何か希望の光が見えたような気がしました。森崎先生のお話を聴けて、明日からまた新たな気持ちで子どもたちと向き合い、頑張れると思います。「大変なこと、困っているとことは障害があるないにかかわらず平等にあるはず」に心が動きました。
- ・日々の育児に追われ、子どもや夫の長所を見て、褒めることができないでいる自分に気づけました。不満をいうことが多くなっていましたが感謝する気持ちを思い出せました。
- ・ペアワークがあり、聞くばかりではないので良かったです。勇気づける実践を日常でも意識していきたいと思います。自分の短所がペアの方の「ヨイ出し」で、私の長所になりました。
- ・「勇気づけ」などは、全て当てはまるんじゃないかというぐらいでショックでした。子どもに対して本当にひどいことをしたと思います。今日学んだことを心に留めつつ、勇気づけをしていきたいと思います。最後の森崎先生のお母さんとのお話は感動して涙しました。
- ・愛は本能かと思っていたのですが、育んでいかないと育てないと知り、驚きました。子どもを尊敬し、できること、ふつうのことをほめ、認め、大切に育てていこうと改めて思いました。
- ・ダメ出しは、たくさんしてきました。今日からは、ヨイ出しをたくさんしていきたいと思いました。
- ・先生の貴重な経験からのエピソードが心に残りました。「自分自身の人生」を考えることを始めたいです。
- ・毎日、自問自答、後悔を繰り返し、子育てが辛く感じることも多いですが、今日は少し心が軽くなったような気がします。子どもの幸せを一番にと考えていましたが、自分も幸せを感じなければ子どもも幸せを願うのも大変ですね。



講師の森崎千秋先生は、小さい頃に母親から虐待を受けつらい幼少期を過ごし、自分はそんな母親にならないようにと誓っていたものの、ご自身も子どもに厳しい親に…。そんな自分を変えようと出会ったアドラー心理学について、体験を交え、ペアワークしながらお話してくださいました。大変良かったという感想と共に、「今日からは、ヨイ出しをたくさんしていきたいと思いました。」のように、自らを変え、何かしていこうとする感想がとてもたくさんありました。今後も、「参加してよかった。」と言っていただけの講演会を開催していきます。

